

平成 21 年 4 月 30 日

第 115 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

[調査要領]	
対象期間	平成 21 年 1 ~ 3 月期実績見込み 平成 21 年 4 ~ 6 月期見通し
調査時点	平成 21 年 3 月下旬
対象企業	県内主要企業 499 社
回答状況	回答企業 323 社 (回答率 64.7%)
特別質問項目	雇用人員について 平成 21 年度の賃金改定計画について 新入社員の初任給改定計画について

用語 今 期 = 平成 21 年 1 ~ 3 月期 来 期 = 平成 21 年 4 ~ 6 月期

前 期 = 平成 20 年 10 ~ 12 月期 前年同期 = 平成 20 年 1 ~ 3 月期

予 想 = 前期調査時の今期見通し

D.I. = 「良い」 - 「悪い」、 「増加」 - 「減少」、いずれも回答企業割合

1. 今期の業況 ~ 前期並みながら最低水準

今期の業況 D.I. は ▲53 と、平成 20 年秋以降からの世界的な景気の急速な悪化もあって、予想 (60) は上回ったものの、前年同期 (34) を大幅に下回り、調査開始 (昭和 55 年 7 ~ 9 月期) 以来最低となった前期 (51) とほぼ同水準ながら、過去最低記録を更新した。

項目別にみると、今期は、販売価格 (前期 10 今期 35)、売上・完工高 (同 ▲36 → ▲50) の大幅な低下が目立つ。一方、平成 19 年 10 ~ 12 月期より急速に上昇した仕入価格 (同 31 6) が 2 期連続で大きく低下したことから、前期に最低を記録した損益 (同 46 41) や資金繰り (同 ▲24 → ▲21) については、僅かながら上昇した。

業況 D.I. を産業別にみると、卸売業 (同 48 38)、小売業 (同 76 71)、および建設業 (同 66 63) はやや改善したものの、製造業 (同 42 48)、その他産業 (同 39 45) では悪化した。

2. 来期の業況見通し ~ 悪化

来期の業況見通し D.I.は▲59 と、今期(▲53)からさらに悪化し、過去最低を更新する見通し。項目別にみても、売上・完工高(今期▲50→来期▲55)、損益(同▲41→▲43)、資金繰り(同▲21→▲27)いずれも今期を下回る見通し。

業況見通しD.I.を産業別にみると、小売業(同▲71→▲72)だけはほぼ横ばいの見込みながら、製造業(同▲48→▲54)、建設業(同▲63→▲84)、卸売業(同▲38→▲43)、その他産業(同▲45→▲53)のいずれも悪化する見通し。

3. 設備投資 ~ 横ばい

今期設備投資を実施した企業割合は39%と、前期(39%)と同水準となった。

投資内容別にみると、「設備機械等の更新、維持」(66%)が最も多く、以下、「生産・販売能力増強」(38%)、「省力化、合理化、省エネ」(19%)の順で、上位3項目の順位に変化はない。

来期に設備投資を予定している企業割合は34%と、今期を下回る見通し。

4. 経営上の問題点

経営上の問題点としては、「原材料・仕入品価格高」(15%)が2期連続で大きく低下し、順位を5位に落とした。一方、首位の「売上・受注不振」(67%)や「競争激化」(52%)が前期(66%、49%)を上回り、次いで「採算・収益の悪化」(30%)、「製(商)品価格低下」(19%)の順となった。

5. 雇用人員について

従業員全体の過不足感については、D.I.17(「過剰」-「不足」、回答企業割合)となり、前回調査(平成20年7~9月期)の6より「過剰」感が増した。産業別のD.I.をみると、小売業(4)で前回(12)のプラスから「不足」超のマイナスに転じたものの、他の産業では、過剰感が増している。

「**過剰**」の理由としては、「販売不振による事業規模の縮小」(81%)が最も多く、次いで「機械化、人員配置の見直し等の合理化」の順となった。一方、「**不足**」の理由は、例年同様「募集しても適当な人材がいない」(56%)が最も多かった。

正社員、非正社員の別でみても、小売業の非正社員を除き、D.I.は「過剰」が「不足」を上回るプラスとなっている。また、全ての産業で正社員の過剰感が、非正社員を上回る傾向にある。

今後の雇用人員については、正社員、非正社員ともに、全ての業種でD.I.はマイナスの「減少」超となっており、今後もきびしい雇用情勢が見込まれる結果となった。

6. 平成21年度の賃金改定計画について

本年度の賃金改定計画については、回答企業のうち「引き上げる」(28%)とした割合は前年度(41%)を下回り、「引き下げる」(4%)が前年(2%)を僅かながら上回った。賃金引き上げ率で最も多いのは、前年度同様「1～2%未満」の49%、次いで「1%未満」(25%)、「2～3%未満」(14%)の順。引き下げ率では「2～3%未満」が最も多く、前年度より引き下げ幅がやや拡大傾向にある。

引き下げの改定要因としては、「自社の業績」が多いが、前年度に比べ、「国内景気動向」の割合が高まり(前年7% 本年33%)、「同業他社の改定状況」(同25% 8%)が低下している。

7. 新入社員の初任給改定計画について

新入社員の初任給の改定計画をみると、D.I.(「引き上げる」-「引き下げる」、回答企業割合)は、高校卒、専修学校卒、短大卒、大学卒、大学院卒いずれも前年度を下回っている。また、業種別では、建設業が本年度全ての学卒者で「引き上げる」とする回答がなく、マイナスに転じたことが特徴となっている。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿児島地域経済研究所 (099-225-7491)

第 115 回 県内企業・業況調査結果集計表

単位：%

四半期別 状況 項目	平成20年10～12月期				平成21年1～3月期					平成21年4～6月期			
	前期実績				今期実績					来期見通し			
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D.I. (A)-(C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D.I. (A)-(C)	前回 調査時 今期 見通し	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D.I. (A)-(C)
	(A)	(B)	(C)	(A)-(C)	(A)	(B)	(C)	(A)-(C)	(A)-(C)	(A)	(B)	(C)	(A)-(C)
自社の業況	8	33	59	51	7	33	60	53	(60)	2	37	61	59
製造業	8	42	50	42	11	30	59	48	(60)	4	38	58	54
建設業	7	20	73	66	5	27	68	63	(68)	0	16	84	84
卸売業	5	42	53	48	8	46	46	38	(47)	3	51	46	43
小売業	2	20	78	76	4	21	75	71	(76)	0	28	72	72
その他産業	13	35	52	39	7	41	52	45	(53)	0	47	53	53
生産高(製造業)	14	41	45	31	10	32	58	48	(50)	4	40	56	52
売上・完工高	15	34	51	36	11	28	61	50	(51)	4	37	59	55
製造業	15	42	43	28	14	28	58	44	(53)	8	37	55	47
建設業	15	24	61	46	17	26	57	40	(61)	0	28	72	72
卸売業	15	41	44	29	9	44	47	38	(41)	0	47	53	53
小売業	8	25	67	59	4	18	78	74	(66)	4	28	68	64
その他産業	19	35	46	27	10	30	60	50	(38)	5	42	53	48
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰 22	適正 71	不足 7	15	過剰 18	適正 68	不足 14	4					
販売価格	上昇 19	横ばい 52	低下 29	10	上昇 6	横ばい 53	低下 41	35	(23)	上昇 4	横ばい 55	低下 41	37
仕入価格	上昇 40	横ばい 51	低下 9	31	上昇 23	横ばい 60	低下 17	6	(13)	上昇 17	横ばい 68	低下 15	2
損益	好転 12	横ばい 30	悪化 58	46	好転 13	横ばい 33	悪化 54	41	(51)	好転 6	横ばい 45	悪化 49	43
製造業	11	41	48	37	14	31	55	41	(48)	8	44	48	40
建設業	9	15	76	67	11	27	62	51	(74)	2	37	61	59
卸売業	8	43	49	41	15	47	38	23	(44)	3	59	38	35
小売業	12	23	65	53	9	29	62	53	(56)	7	39	54	47
その他産業	17	24	59	42	17	35	48	31	(41)	8	50	42	34
資金繰り	楽 4	普通 68	窮屈 28	24	楽 4	普通 71	窮屈 25	21	(28)	楽 3	普通 67	窮屈 30	27
製造業	2	74	24	22	4	68	28	24	(29)	4	64	32	28
建設業	2	65	33	31	9	74	17	8	(37)	6	70	24	18
卸売業	3	74	23	20	0	86	14	14	(14)	3	83	14	11
小売業	4	59	37	33	0	61	39	39	(35)	0	56	44	44
その他産業	8	66	26	18	4	75	21	17	(27)	3	70	27	24

第115回 企業業況アンケート調査

回答率

単位：%

	対象企業	回答企業	回答率
製造業	147	105	71.4
食料品	65	50	76.9
繊維	10	7	70.0
木材	6	3	50.0
紙・パルプ	3	2	66.7
窯業・土石	15	11	73.3
機械・金属	19	12	63.2
電機・電子	20	13	65.0
その他	9	7	77.8
非製造業計	352	218	61.9
建設業	63	46	73.0
土木	22	15	68.2
建築	14	13	92.9
総合建設	12	7	58.3
その他	15	11	73.3
卸売業	62	35	56.5
食料品	29	15	51.7
建設資材	11	8	72.7
衣料品	2	1	50.0
家電製品	5	2	40.0
その他	15	9	60.0
小売業	108	56	51.9
百貨店・スーパー	19	10	52.6
衣料品	9	4	44.4
自動車	16	5	31.3
家電製品	6	3	50.0
石油	11	7	63.6
その他	38	23	60.5
外食産業	9	4	44.4
その他	119	81	68.1
旅館・ホテル	21	18	85.7
運輸	32	21	65.6
サービス	59	37	62.7
農林水産	7	5	71.4
合計(製造+非製造)	499	323	64.7

業況D . I . の推移

			全 産 業	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	その他産業
10年	1 ~ 3	月期	44	48	8	54	57	49
	4 ~ 6	"	44	45	54	50	42	33
	7 ~ 9	"	47	53	46	55	46	38
	10 ~ 12	"	28	22	15	39	40	23
11年	1 ~ 3	"	24	30	1	30	31	17
	4 ~ 6	"	31	26	17	34	41	37
	7 ~ 9	"	31	28	30	43	37	20
	10 ~ 12	"	11	1	11	8	40	5
12年	1 ~ 3	"	11	5	4	18	24	8
	4 ~ 6	"	23	14	37	50	13	24
	7 ~ 9	"	23	15	35	31	25	21
	10 ~ 12	"	13	6	4	15	28	17
13年	1 ~ 3	"	22	27	2	18	35	18
	4 ~ 6	"	39	42	42	29	41	33
	7 ~ 9	"	41	51	30	43	39	28
	10 ~ 12	"	34	23	32	30	56	29
14年	1 ~ 3	"	34	31	44	37	36	28
	4 ~ 6	"	30	18	60	31	34	21
	7 ~ 9	"	30	13	52	31	44	24
	10 ~ 12	"	18	6	29	22	42	19
15年	1 ~ 3	"	25	13	29	19	41	28
	4 ~ 6	"	35	16	58	25	58	29
	7 ~ 9	"	24	7	48	29	34	25
	10 ~ 12	"	17	7	33	33	42	15
16年	1 ~ 3	"	12	5	35	8	23	11
	4 ~ 6	"	23	2	61	25	43	12
	7 ~ 9	"	21	8	37	27	36	14
	10 ~ 12	"	7	11	23	6	29	8
17年	1 ~ 3	"	24	16	31	17	33	31
	4 ~ 6	"	26	17	60	18	24	26
	7 ~ 9	"	27	23	40	23	28	25
	10 ~ 12	"	18	2	28	8	29	25
18年	1 ~ 3	"	22	19	23	14	36	18
	4 ~ 6	"	25	17	42	17	32	22
	7 ~ 9	"	32	31	33	25	43	28
	10 ~ 12	"	27	24	33	30	54	11
19年	1 ~ 3	"	24	19	27	35	52	5
	4 ~ 6	"	32	31	33	38	44	19
	7 ~ 9	"	38	45	31	41	51	19
	10 ~ 12	"	33	32	49	22	54	19
20年	1 ~ 3	"	34	26	49	32	52	26
	4 ~ 6	"	46	45	66	42	63	29
	7 ~ 9	"	51	42	68	56	74	38
	10 ~ 12	"	51	42	66	48	76	39
21年	1 ~ 3	"	53	48	63	38	71	45
	4 ~ 6	月期見通し	59	54	84	43	72	53

(注) D . I . = 「良い」 - 「悪い」

売上・完工高D . I . の推移（前年比）

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
10年	1～3	月期	53	55	31	65	57	53
	4～6	"	35	35	45	46	26	29
	7～9	"	35	44	44	29	27	27
	10～12	"	28	20	23	35	26	38
11年	1～3	"	18	21	4	17	23	17
	4～6	"	16	8	39	13	12	15
	7～9	"	14	10	15	32	24	0
	10～12	"	6	0	30	7	8	10
12年	1～3	"	3	2	17	7	0	2
	4～6	"	12	10	42	28	8	7
	7～9	"	13	8	36	11	4	16
	10～12	"	17	16	28	20	11	16
13年	1～3	"	12	20	9	12	5	24
	4～6	"	30	37	28	19	28	29
	7～9	"	39	50	40	38	43	17
	10～12	"	29	23	30	39	26	38
14年	1～3	"	30	33	33	38	24	22
	4～6	"	26	15	56	32	21	21
	7～9	"	18	7	46	25	20	22
	10～12	"	18	2	25	14	26	33
15年	1～3	"	21	8	50	10	15	36
	4～6	"	23	5	45	7	44	26
	7～9	"	13	0	35	17	18	14
	10～12	"	17	1	34	25	21	26
16年	1～3	"	3	30	43	4	14	10
	4～6	"	10	7	39	10	28	1
	7～9	"	9	2	39	17	24	6
	10～12	"	3	12	31	10	14	12
17年	1～3	"	21	22	41	7	18	19
	4～6	"	12	9	43	7	7	20
	7～9	"	17	21	40	13	3	12
	10～12	"	12	12	30	9	5	16
18年	1～3	"	13	18	31	16	6	3
	4～6	"	15	17	33	15	11	8
	7～9	"	18	22	11	25	17	11
	10～12	"	20	18	28	33	30	7
19年	1～3	"	13	18	9	31	17	8
	4～6	"	22	20	36	29	23	15
	7～9	"	27	31	34	35	28	14
	10～12	"	23	8	45	22	50	13
20年	1～3	"	24	10	32	20	45	27
	4～6	"	27	15	49	27	44	22
	7～9	"	35	23	50	38	50	28
	10～12	"	36	28	46	29	59	27
21年	1～3	"	50	44	40	38	74	50
	4～6	月期見通し	55	47	72	53	64	48

(注) D . I . = 「増加」 - 「減少」

損益（前年比）D . I . の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
10年	1～3	月期	43	42	22	48	50	49
	4～6	"	27	35	39	25	17	18
	7～9	"	21	26	37	17	13	14
	10～12	"	16	13	19	15	14	20
11年	1～3	"	8	15	0	9	6	5
	4～6	"	3	3	20	14	1	6
	7～9	"	9	4	22	21	5	4
	10～12	"	4	4	13	4	11	4
12年	1～3	"	2	3	16	5	1	0
	4～6	"	9	1	34	24	11	21
	7～9	"	8	4	18	2	2	18
	10～12	"	13	9	27	6	8	19
13年	1～3	"	11	15	0	5	11	18
	4～6	"	22	39	23	17	0	15
	7～9	"	29	41	29	23	30	17
	10～12	"	29	26	44	27	39	14
14年	1～3	"	21	22	40	15	16	17
	4～6	"	13	0	42	19	8	9
	7～9	"	7	8	33	12	3	12
	10～12	"	11	7	19	16	20	19
15年	1～3	"	12	1	29	17	3	18
	4～6	"	13	2	25	19	16	13
	7～9	"	10	3	25	20	14	13
	10～12	"	11	4	30	18	13	15
16年	1～3	"	1	16	31	2	7	2
	4～6	"	9	2	45	12	13	3
	7～9	"	7	6	35	9	10	2
	10～12	"	5	2	28	6	5	13
17年	1～3	"	18	11	41	0	20	26
	4～6	"	12	7	42	2	0	20
	7～9	"	16	17	33	15	4	14
	10～12	"	13	11	30	5	9	17
18年	1～3	"	23	22	36	22	19	20
	4～6	"	22	21	25	9	35	17
	7～9	"	28	36	24	14	40	22
	10～12	"	23	16	32	19	42	19
19年	1～3	"	19	12	32	35	30	3
	4～6	"	18	16	18	30	23	13
	7～9	"	24	29	27	25	28	13
	10～12	"	31	31	38	21	58	13
20年	1～3	"	29	25	36	29	40	23
	4～6	"	33	33	51	12	50	26
	7～9	"	39	35	55	28	48	35
	10～12	"	46	37	67	41	53	42
21年	1～3	"	41	41	51	23	53	31
	4～6	月期見通し	43	40	59	35	47	34

(注) D . I . = 「好転」 - 「悪化」

資金繰りD・Iの推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
10年	1～3	月期	16	14	2	17	23	23
	4～6	"	11	13	0	4	23	12
	7～9	"	19	24	7	20	15	22
	10～12	"	15	7	2	16	22	26
11年	1～3	"	10	7	2	9	15	15
	4～6	"	3	2	12	2	9	13
	7～9	"	11	13	1	18	12	13
	10～12	"	8	3	4	9	19	14
12年	1～3	"	4	1	9	8	9	13
	4～6	"	0	4	13	6	6	15
	7～9	"	13	9	2	4	17	26
	10～12	"	11	9	2	5	8	26
13年	1～3	"	6	4	6	6	8	19
	4～6	"	11	16	6	5	12	22
	7～9	"	13	19	7	0	14	20
	10～12	"	16	12	14	11	22	24
14年	1～3	"	12	9	10	11	10	24
	4～6	"	6	2	7	4	6	12
	7～9	"	12	5	17	12	13	17
	10～12	"	10	4	2	15	19	22
15年	1～3	"	6	14	11	13	13	13
	4～6	"	5	4	8	17	17	23
	7～9	"	7	1	6	4	15	17
	10～12	"	9	1	17	4	17	19
16年	1～3	"	8	5	17	4	19	7
	4～6	"	3	8	5	2	20	8
	7～9	"	5	4	14	2	13	8
	10～12	"	3	1	0	3	13	4
17年	1～3	"	6	4	11	0	15	14
	4～6	"	5	0	8	5	13	14
	7～9	"	12	15	10	4	16	10
	10～12	"	12	10	9	7	20	17
18年	1～3	"	9	11	5	5	26	6
	4～6	"	7	5	2	2	17	7
	7～9	"	11	11	4	0	24	13
	10～12	"	13	9	13	0	28	13
19年	1～3	"	11	14	6	0	28	4
	4～6	"	7	6	4	7	24	8
	7～9	"	13	13	5	14	24	11
	10～12	"	16	12	19	5	35	9
20年	1～3	"	18	14	23	8	25	17
	4～6	"	20	16	25	22	34	14
	7～9	"	26	20	27	23	46	18
	10～12	"	24	22	31	20	33	18
21年	1～3	"	21	24	8	14	39	17
	4～6	月期見通し	27	28	18	11	44	24

(注) D・I = 「楽」 - 「窮屈」

第115回

業況D.I.

	20年1～3月期	20年10～12月期	21年1～3月期		21年4～6月期
	前年同期	前 期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	34	51	60	53	59
製 造 業	26	42	60	48	54
食 料 品	17	21	50	28	23
織 維	50	50	67	43	71
木 材	50	0	34	67	67
紙・パルプ	0	100	100	50	100
窯業・土石	18	60	40	55	82
機械・金属	40	57	64	67	75
電機・電子	31	77	92	92	100
そ の 他	60	71	100	72	71
建 設 業	49	66	68	63	84
土 木	59	63	63	72	86
建 築	56	64	73	54	92
総合建設	38	61	74	71	83
そ の 他	36	80	70	60	70
卸 売 業	32	48	47	38	43
食 料 品	24	37	47	26	27
建設資材	56	50	50	63	75
そ の 他	25	89	67	34	33
小 売 業	52	76	76	71	72
百貨店・スーパー	73	67	67	70	89
衣 料 品	80	100	100	100	100
自 動 車	14	100	100	100	80
家電製品	0	50	50	67	67
石 油	50	100	88	15	33
そ の 他	59	69	63	78	70
そ の 他	26	39	53	45	53
旅館・ホテル	6	20	31	45	61
運 輸	38	62	57	43	43
サ ー ビ ス	33	60	57	43	56

第115回

売上・完工高D.I.

	20年1～3月期	20年10～12月期	21年1～3月期		21年4～6月期
	前年同期	前 期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	24	36	51	50	55
製 造 業	10	28	53	44	47
食 料 品	7	0	39	21	20
織 維	50	33	33	14	71
木 材	50	0	67	67	67
紙・パルプ	50	50	100	0	50
窯業・土石	9	70	45	70	82
機械・金属	20	57	72	75	50
電機・電子	17	61	92	92	85
そ の 他	60	71	58	72	71
建 設 業	32	46	61	40	72
土 木	38	63	50	53	67
建 築	45	9	73	23	69
総合建設	25	61	74	71	86
そ の 他	18	46	55	18	73
卸 売 業	20	29	41	38	53
食 料 品	5	5	42	29	36
建設資材	45	36	50	50	75
そ の 他	38	78	45	34	56
小 売 業	45	59	66	74	64
百貨店・スーパー	60	41	46	60	78
衣 料 品	80	100	100	100	100
自 動 車	29	100	86	100	60
家電製品	0	0	0	67	67
石 油	0	50	75	57	33
そ の 他	44	56	60	77	68
そ の 他	27	27	38	50	48
旅館・ホテル	0	35	17	41	47
運 輸	14	28	38	47	43
サ ー ビ ス	46	56	45	57	53

第115回

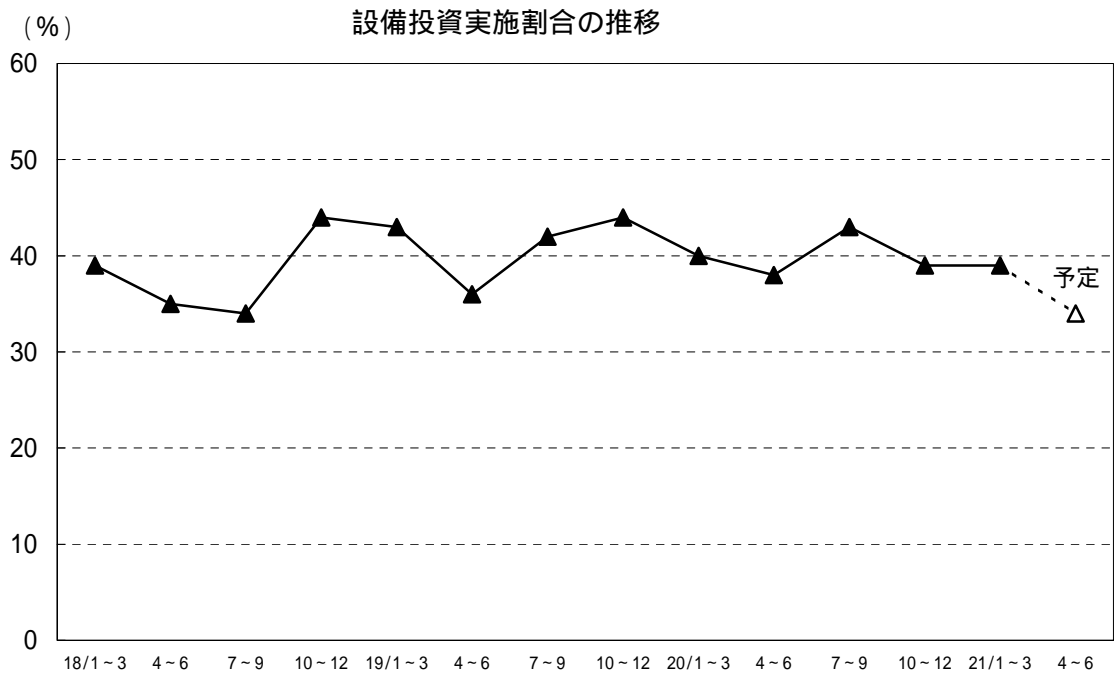
損益D.I.(前年比)

	20年1～3月期	20年10～12月期	21年1～3月期		21年4～6月期
	前年同期	前 期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	29	46	51	41	43
製 造 業	25	37	48	41	40
食 料 品	17	23	37	15	12
織 維	38	50	33	14	57
木 材	50	0	0	67	67
紙・パルプ	50	100	100	100	100
窯業・土石	18	80	60	82	64
機械・金属	40	36	50	50	50
電機・電子	31	62	77	92	77
そ の 他	80	29	71	43	71
建 設 業	36	67	74	51	59
土 木	24	57	69	50	62
建 築	56	64	73	39	62
総合建設	38	74	75	71	71
そ の 他	36	82	82	55	46
卸 売 業	29	41	44	23	35
食 料 品	10	37	37	29	22
建設資材	67	25	50	13	50
そ の 他	38	78	75	33	33
小 売 業	40	53	56	53	47
百貨店・スーパー	70	33	50	50	56
衣 料 品	60	100	100	100	75
自 動 車	14	86	71	80	40
家電製品	0	0	0	67	67
石 油	25	50	50	15	16
そ の 他	39	52	53	56	52
そ の 他	23	42	41	31	34
旅館・ホテル	6	10	22	23	41
運 輸	41	62	43	10	25
サ ー ビ ス	18	56	49	49	42

第115回

資金繰りD.I.

	20年1～3月期	20年10～12月期	21年1～3月期		21年4～6月期
	前年同期	前 期	今期 見通し	今期 実績	来期 見通し
全 業 種	18	24	28	21	27
製 造 業	14	22	29	24	28
食 料 品	7	11	17	12	10
織 維	50	33	33	29	50
木 材	0	0	0	33	33
紙・パルプ	0	0	50	50	50
窯業・土石	9	50	40	27	46
機械・金属	20	21	29	33	42
電機・電子	15	33	73	50	58
そ の 他	40	57	43	29	29
建 設 業	23	31	37	8	18
土 木	24	38	44	6	6
建 築	22	27	27	8	8
総合建設	25	25	38	14	29
そ の 他	18	27	36	27	36
卸 売 業	8	20	14	14	11
食 料 品	10	11	6	0	6
建設資材	22	25	25	25	25
そ の 他	25	33	38	33	33
小 売 業	25	33	35	39	44
百貨店・スーパー	20	18	18	33	38
衣 料 品	80	100	100	100	100
自 動 車	14	14	14	0	20
家電製品	0	0	50	50	50
石 油	0	25	25	0	0
そ の 他	31	40	36	48	48
そ の 他	17	18	27	17	24
旅館・ホテル	25	12	21	18	31
運 輸	19	28	28	19	19
サ ー ビ ス	9	15	27	16	22



第115回

設 備 投 資

単位: %

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
21 / 1 }	実施した	39	55	21	29	32	37
	設備機械等の更新、維持	66	69	75	60	63	62
	生産・販売能力増強	38	36	13	50	63	31
	省力化、合理化、省エネ	19	24	0	30	6	17
	新製品等の研究開発	7	9	13	20	0	0
	経営多角化	4	4	13	0	6	3
	その他	3	6	0	0	0	3
3 月	実施予定	34	47	19	24	26	37
	設備機械等の更新、維持	69	67	43	88	75	71
	生産・販売能力増強	30	30	29	13	42	29
	省力化、合理化、省エネ	23	33	14	38	8	11
	経営多角化	5	4	14	13	0	4
	新製品等の研究開発	3	4	14	0	0	0
	その他	2	2	0	0	0	4
4 / 6 }							
6 月							

(注) 計数は構成割合、投資目的は複数回答

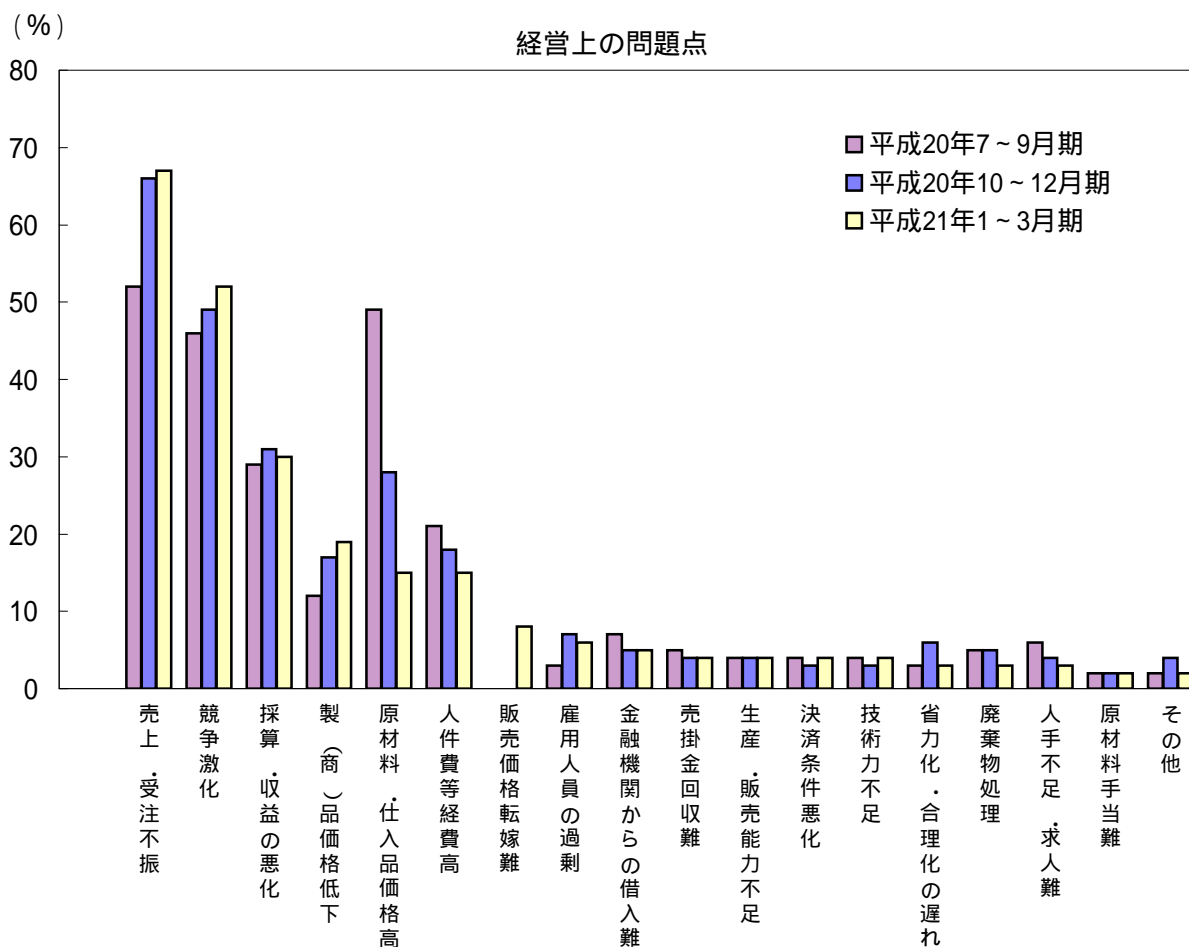
設備投資実施割合の推移

単位：%

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
10年	1～3	月期	31	36	17	17	31	44
	4～6	"	33	37	25	20	30	42
	7～9	"	30	37	18	17	32	34
	10～12	"	33	37	25	22	28	44
11年	1～3	"	28	32	27	22	18	38
	4～6	"	30	39	19	17	30	33
	7～9	"	31	35	17	29	31	34
	10～12	"	31	39	15	27	31	32
12年	1～3	"	32	40	17	26	28	37
	4～6	"	35	41	26	27	34	38
	7～9	"	36	39	20	43	30	45
	10～12	"	35	45	23	30	30	31
13年	1～3	"	33	40	24	28	22	41
	4～6	"	32	36	24	25	35	31
	7～9	"	34	37	20	33	31	42
	10～12	"	31	40	19	33	29	28
14年	1～3	"	28	30	19	31	27	31
	4～6	"	30	33	15	28	35	35
	7～9	"	33	42	22	28	35	30
	10～12	"	31	37	21	28	27	40
15年	1～3	"	30	40	18	28	24	31
	4～6	"	32	34	14	40	30	38
	7～9	"	33	38	21	30	29	37
	10～12	"	33	43	26	25	22	38
16年	1～3	"	31	45	7	28	30	30
	4～6	"	31	38	33	21	24	33
	7～9	"	35	43	12	24	33	50
	10～12	"	33	36	21	23	36	39
17年	1～3	"	31	35	15	30	24	41
	4～6	"	35	42	26	28	29	39
	7～9	"	39	44	19	35	40	46
	10～12	"	48	59	27	50	39	55
18年	1～3	"	39	48	16	39	40	42
	4～6	"	35	45	15	28	33	40
	7～9	"	34	43	11	27	35	41
	10～12	"	44	50	28	35	44	50
19年	1～3	"	43	50	30	42	41	43
	4～6	"	36	48	20	31	28	40
	7～9	"	42	46	24	38	40	49
	10～12	"	44	58	25	24	42	48
20年	1～3	"	40	50	14	37	38	44
	4～6	"	38	45	11	27	42	45
	7～9	"	43	52	22	33	40	47
	10～12	"	39	49	17	26	29	48
21年	1～3	"	39	55	21	29	32	37
	4～6	月期見通し	34	47	19	24	26	37

	全産業		製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
	回答数	構成比					
売上・受注不振	67	27.2	64	89	50	67	64
競争激化	52	21.1	35	73	47	71	48
採算・収益の悪化	30	12.2	25	47	24	40	23
製(商)品価格低下	19	7.7	27	16	21	20	11
原材料・仕入品価格高	15	6.1	23	18	15	6	9
人件費等経費高	15	6.1	10	13	15	20	20
販売価格転嫁難	8	3.3	10	2	12	11	3
雇用人員の過剰	6	2.4	7	11	6	4	3
金融機関からの借入難	5	2.0	6	2	3	9	4
売掛金回収難	4	1.6	5	0	9	4	4
生産・販売能力不足	4	1.6	2	0	0	7	7
決済条件悪化	4	1.6	4	7	3	4	1
技術力不足	4	1.6	4	4	3	2	4
省力化・合理化の遅れ	3	1.2	5	0	3	0	3
廃棄物処理	3	1.2	8	2	0	2	0
人手不足・求人難	3	1.2	1	2	3	4	5
原材料手当難	2	0.8	5	0	6	0	0
その他	2	0.8	2	0	6	0	3
回答企業数	306		97	45	34	55	75

(注) 複数回答につき計算は $\frac{\text{該当項目の回答数}}{\text{回答企業数}} \times 100$



<特別質問項目>

雇用人員について

(単位:%)

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
現 在	従 業 員 全 体	過 剰	23	31	36	26	11	13	
		要 因	販売不振による事業規模の縮小	81	78	100	78	100	50
			機械化、人員配置の見直し等の合理化	18	19	13	11	0	40
			過去に採用(新卒、中途)を大量に実施	8	6	0	11	0	30
			海外進出に伴う、国内の事業規模縮小	1	3	0	0	0	0
			その他	1	3	0	0	0	0
		適 正	71	66	62	71	74	81	
		不 足	6	3	2	3	15	6	
		要 因	募集しても適当な人材がない	56	33	0	0	50	100
			販売好調による事業規模の拡大	22	33	100	100	13	0
	新規分野への進出等、業務分野の拡大		11	33	0	0	13	0	
	その他		17	33	0	0	25	0	
	D. . (「過剰」-「不足」)			17	28	34	23	4	7
	前 回 (平成20年7~9月期)			6	8	15	13	12	7
	正 社 員	過 剰	23	29	38	27	15	12	
		適 正	72	68	59	64	76	83	
不 足		5	3	3	9	9	5		
D. .		18	26	35	18	6	7		
非 正 社 員	過 剰	12	15	13	17	6	8		
	適 正	80	79	87	75	74	84		
	不 足	8	6	0	8	20	8		
	D. .	4	9	13	9	14	0		
今 後	正 社 員	増 加	9	6	7	6	12	12	
		現 状 程 度	69	76	58	65	65	74	
		減 少	22	18	35	29	23	14	
		D. .	13	12	28	23	11	2	
	非 正 社 員	増 加	9	10	0	4	15	9	
		現 状 程 度	73	71	82	75	68	76	
		減 少	18	19	18	21	17	15	
		D. .	9	9	18	17	2	6	

(注) 計数は構成割合。非正社員の増加要因、非正社員の待遇改善内容は複数回答。

<特別質問項目>

平成21年度の賃金改定計画について

(単位:%)

		全産業		製造業		建設業		卸売業		小売業		その他産業		
		20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	
		43	32	50	34	13	27	51	40	41	26	45	33	
実施予定	引き上げる	41	28	51	31	11	20	49	40	36	22	43	28	
	引き上げ率	1%未満	18	25	18	16	20	25	17	21	10	42	22	32
		1~2%未満	49	49	47	66	40	25	56	50	60	42	43	36
		2~3%未満	18	14	24	13	40	38	6	7	15	8	16	14
		3~4%未満	5	3	6	0	0	0	6	0	0	8	5	9
		4~5%未満	4	2	2	3	0	0	0	7	5	0	8	0
		5~6%未満	1	1	2	0	0	13	0	0	0	0	0	0
		6%以上	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未定	5	6	0	3	0	0	17	14	10	0	5	9	
	引き下げる	2	4	0	3	2	7	2	0	5	4	2	5	
	引き下げ率	1%未満	14	8	0	0	0	33	100	0	0	0	0	0
		1~2%未満	29	8	50	0	0	0	0	0	50	50	0	0
		2~3%未満	0	25	0	0	0	0	0	0	0	50	0	50
		3~4%未満	14	17	0	33	0	33	0	0	50	0	0	0
		4~5%未満	14	8	0	33	100	0	0	0	0	0	0	0
5~6%未満		0	17	0	33	0	33	0	0	0	0	0	0	
6%以上		14	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
未定	14	17	0	0	0	0	0	0	0	0	100	50		
改定要因	自社の業績	73	100	78	100	67	100	88	0	50	100	72	100	
	国内景気動向	7	33	5	67	0	33	18	0	14	50	3	0	
	同業他社の改定状況	25	8	28	0	17	0	6	0	43	0	25	25	
	県内景気動向	6	8	8	0	0	0	12	0	7	50	0	0	
	国内主要大企業の改定状況	5	0	5	0	0	0	0	0	14	0	3	0	
	その他	9	0	3	0	33	0	12	0	14	0	9	0	
実施しない		20	26	19	33	27	25	17	20	17	30	22	19	
未定		37	42	31	33	60	48	32	40	42	44	33	48	

注) 計数は構成割合。賃金改定要因は複数回答

<特別質問項目>

新入社員の初任給改定計画について

(単位:%)

		全産業											
		20年		21年		製造業		建設業		卸売業		小売業	
		20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年
高校卒	引き上げる	8	5	11	6	5	0	4	7	7	0	8	9
	前年並み	90	94	85	94	90	90	96	93	93	100	89	91
	引き下げる	2	1	4	0	5	10	0	0	0	0	3	0
	D.I.	6	4	7	6	0	10	4	7	7	0	5	9
専修学校 (高専)卒	引き上げる	9	6	9	7	0	0	13	9	14	8	4	6
	前年並み	88	92	85	93	100	87	87	91	86	92	92	94
	引き下げる	3	2	6	0	0	13	0	0	0	0	4	0
	D.I.	6	4	3	7	0	13	13	9	14	8	0	6
短大卒	引き上げる	11	4	5	4	0	0	20	7	18	5	10	3
	前年並み	86	94	90	96	100	87	80	93	82	95	85	97
	引き下げる	3	2	5	0	0	13	0	0	0	0	5	0
	D.I.	8	2	0	4	0	13	20	7	18	5	5	3
大学卒	引き上げる	11	5	12	11	6	0	22	6	7	4	12	3
	前年並み	87	93	83	89	94	89	78	94	93	96	84	97
	引き下げる	2	2	5	0	0	11	0	0	0	0	4	0
	D.I.	9	3	7	11	6	11	22	6	7	4	8	3
大学院卒	引き上げる	7	3	11	8	0	0	8	0	0	0	12	4
	前年並み	89	95	82	92	100	83	92	100	100	100	82	96
	引き下げる	4	2	7	0	0	17	0	0	0	0	6	0
	D.I.	3	1	4	8	0	17	8	0	0	0	6	4

注) 計数は構成割合。賃金改定要因は複数回答

最近の業況に関する主な意見

業種		最近の業況
製造業	焼酎	<p>甲乙混和焼酎が増加。大手ビールメーカーの商品が安価で、都市部では本格焼酎から飲み変える人も出てきている。</p> <p>焼酎ブームの一服感と不況による消費の落ち込みにより、業界全体で若干前年割れの傾向がみられるものの、主力の芋焼酎は何とか前年比105%程度で推移している。しかし、今後は減少が見込まれるので、効率などの改善により、前年以上の売り上げと利益を確保したい。</p> <p>飲酒運転罰則規定の強化や世界同時不況の影響もあり、業務用の消費が減少。家庭で晩酌する人が増加し、低価格酒(甲乙混和)等の消費が伸びてきている。</p>
	菓子	汚染米問題以降、原料の国産化によるコスト上昇と売上低迷による利益の減少が続く。
	窯業・土石	公共工事における石工事が減少傾向。大型の物件がなくなった。
	機械・金属	来期も厳しい受注状況が続くと予測している。休業による雇用助成金、研修費助成制度等の活用をするなどし、この難局を打破したい。
	電気・電子	<p>過去に経験したことのない受注の急激な落ち込みで手の打ちようがない。雇用を守るためにワークシェアリングや雇用調整助成金でしのいでいるが、固定費を簡単に削減できず悩んでいる。</p> <p>創業以来かつてない危機的状況下にある。現在、中小企業雇用安定給付金で何とか雇用を守っている状況。先行き不透明。</p> <p>現在は厳しい状況であるが、受注状況を見る限り、1月～3月が底になるのではないかとみている。</p>
建設業	建築	公共・民間工事共に発注量が大きく減少し、同業者間の競争により価格競争が進み、受注できても採算割れの状況にある。
卸売業	医薬品	競争激化のため利益とれず。多分野に進出。
小売業	百貨店・スーパー	<p>既存店は全体的に前年よりマイナス。</p> <p>閉店セールが好調に推移し、売上げを大きく伸ばしている。</p>
	石油・ガス	仕入価格の急激な下落による在庫差損失に悩まされたが、2月からようやく落ち着いてきた。しかし、小売価格を値下げしてもお客様の買い控えが定着しており、さらに公共工事の減少により販売数量が落ち込んだ。
	建設資材	近年にない最悪の景況。製造業、特に機器加工業のユーザーでは、前年より5割～7割ダウンの状況がみられる。売り上げ不振に加え、在庫縮小がうまくいかず、資金繰りが苦しい。借入金の返済がスムーズに行くのか不安。
その他	旅館・ホテル	<p>団体客、海外客の減少を個人客でカバーした。</p> <p>鹿児島中央駅周辺にホテルが乱立し、競争激化の中、稼働率確保のため経費増となり、利益率を圧迫。また、宴会需要も、単価、規模共に落ち込む傾向である。ただ、西口については新幹線全線開通に向け、集客が見込めることが明るい材料。</p> <p>前年の薫姫ブームが去り、県内他社も売上げ減となっている。宿泊に加え、特に飲食部門の売上げ減が大きくなっている。企業・団体・個人と、前年の数字にはほど遠い。</p>
	運輸・通信	<p>景気後退の中、物量が減少しており、荷物の獲得競争が激化している。運賃の下落が始まっており、適正運賃の収受が出来なくなりつつある。</p> <p>原油価格は安定してきたが、景気の低迷で物流の減少が懸念される。</p>
	美容	毎年この時期は業績が落ちるが、今年は例年以上に落ち込んでいる。景気低迷の影響を受けているものと思われる。
	情報	景気悪化の波が徐々に押し寄せている。
	建物管理	販売先の業績低迷による値下げ要請で、今後は業況悪化傾向となるものと推測される。
	ゴルフ場	景気悪化、金融危機で韓国からのお客様が前年比9割減となり、大変厳しい状況。
	警備	前年のような大型受注が今年はなく、官公庁の入札に苦戦している。契約の解約、単価下落による赤字契約の撤退等で人員に過剰感があり、ワークシェアリング等も検討課題となっている。